

令和3年9月8日

沖縄県議会議長

赤 嶺 昇 殿

派 遣 議 員

団 長 末 松 文 信

石 原 朝 子

比 嘉 京 子

瀬 長 美佐雄

喜友名 智 子

上 原 章

「県立高校生自死事案について全容解明のための再調査等を求める決議」
の要請議員団報告書

上記のことについて、別紙のとおり報告します。

別紙

「県立高校生自死事案について全容解明のための再調査等を求める決議」
の要請議員団報告書

1 派遣議員

団長	末松文信
	石原朝子
	比嘉京子
	瀬長美佐雄
	喜友名智子
	上原章

2 派遣目的

令和3年第5回議会（臨時会）の7月26日の会議において議決された上記決議の趣旨を沖縄県知事及び沖縄県教育長に要請するため。

3 派遣期間

令和3年7月26日（月）（1日）

4 要請日程

別紙のとおり

5 要請概要

団長が決議の趣旨を説明した後、県教育委員会から独立した第三者による委員会を設置し、再調査を行うこと、第三者委員会の調査を踏まえ、再発防止の対策を講じること、子供の権利を守るための相談調査窓口として、公的な第三者機関を設置すること等について要請した。

6 知事に対する要請内容及び答弁

(1) 御遺族の皆さんが本当に納得できるような調査内容にして、しっかりと報告をしてもらいたい。第三者委員会においても、先進地の事例はもちろん、様々な専門家を交えた調査を実施していただきたい。

(2) この事案というのは、部活動の指導の在り方というものがどうあるべき

かということをも根本から問い直していかないといけないものである。先生方が黙認していたのか。死に迫いやるようなことが本当に起きたのか。やはり親としては真実を明らかにしてほしいと願っており、再発防止のためにも徹底した調査をしていただきたい。

- (3) 遺族に寄り添った徹底した再調査が、今後二度と起こさないという本当の力、再発防止策の取組だと思ふ。

部活が勝利至上主義になっていないのか。いい成績を収める指導者が評価されて、本来あってはならない力づく、暴言のようなことが許容されていなかったのか。そういう環境を含めて、教師、保護者、PTAも全てが試されると思ふ。時間がかかっても徹底した説明が必要であり、今後の対策もそれを踏まえた形で出されることが大事である。

- (4) 生徒が命を絶った背景に指導者との関係性がある。力関係がある中で、指導という言葉の下に暴力だったり、虐待だったり、人権無視だったり、そういうことが行われていた結果ではないか。

調査報告書で生徒の環境、指導者との関係、それを取り巻く部活や学校環境の在り方がどうだったのか、それが不十分だったから今回の保護者、遺族の陳情になったと思ふ。その指導というものを取り巻く環境は、やはりきっちりと分析・調査を行っていただきたい。

- (5) 教育現場で先生方が指導という名の下で何でもありというか、先生方の一人一人の価値観で生徒を追い詰めることは絶対あってはいけない。ぜひ今回第三者委員会をつくって、学校現場、全県を挙げて、しっかりした体制をつくっていただきたい。

○ 玉城デニー知事

誰もが自分で自分の命を絶つということが、本当にこんなに悲しいことはないということは同じ思いである。この学生さんの御友人の皆さん、いろいろな方々が非常にその過ごしていた時間の大切さを思うと、本当に御遺族のお気持ちにもしっかりと寄り添うことが大切だろうということは言うまでもない。

今回、この件は教育委員会からも調査の報告などいろいろ受けているが、我々としても、他の都道府県の事例や、あるいは今後このような場合にどういふ調査をどれだけの時間をかけてしっかりと行うべきかということについ

では、私の知事の特命事項としてなのか、それとも例えば沖縄県は子どもの権利尊重条例も制定してあるので、そういう観点からもどの部局が担当し得るのかということも踏まえて様々な角度から検討していきたい。

今回はこの議会での決議も重く受け止めて、教育委員会からもよくその内容をもう一度聞き取りをしながらどのような形でできるのか検討していきたい。今後とも誰一人取り残さない、本当に学校においても家庭においても社会においても、そういう環境がつかれるようにしっかりと努めていきたい。

7 教育長に対する要請及び答弁

- (1) 県外の事例等も検討し、第三者委員会を御遺族の方が納得いくような構成メンバーで再調査をしていただきたい。再調査に際しては、県教育委員会も調査の対象になるかと思うが、協力してぜひ今後報告書の内容に沿った様々な処分等についてもしっかりと情報を提供していただきたい。
- (2) 再調査の意味は、今後の教育の在り方を変える調査であってほしいので、知事部局と一緒にあって本当に県民が納得できて、子供たちが納得できる、そういう大人としての使命を、お手本を示していけるような調査の結果をお願いしたい。
- (3) 生徒が置かれている過度なストレスの解消を含めた総合的な背景を含めて、時間がかかっても分析をすること。遺族の皆さんはそれ自体が大人の責任という言い方をしていた。その突きつけられた課題を真摯に受け止めて、私たちがこの調査を求める。これは教育委員会、知事サイドも本当に県民に対する姿勢として捉えているだろうと思うので、それに応えるような形でぜひ取り組んでいただきたい。
- (4) 再調査を独立した機関で行ってほしい、教育委員会自身も調査対象ではないか、という遺族、保護者からの言葉は本当に重いと思う。その部分も酌み取っていただいて、今後はあるべき学校、それから部活の在り方の土台になるような調査をしていただきたい。
- (5) 教育委員会としていま一度原点に戻って、学校現場で一体何が起きているのか、こういうことは特異的なものではない、いろんなところで起こる可能性がある。そういう意味では、ぜひ教育長のリーダーシップで、今回のことも含めて、今後の再発防止をお願いしたい。

○ 金城弘昌教育長

この間、高校生の自死事案については議会のほうで様々な審議がされたところである。改めて、今回亡くなられた高校生の御冥福をお祈り申し上げるとともに、御遺族の皆様へ心よりお悔やみ申し上げたい。

今回の県議会での再調査等を求める決議、大変重く受け止めているところである。県教育委員会としても、御遺族が望まれていることについて再度お話を伺えればと考えているが、御遺族に対して引き続き丁寧な対応をさせていただきたいと思っている。

また、今回の決議では県教育委員会から独立した第三者の調査というところであるので、知事のほうともしっかりと意見を交わしながら、どういうふうな対応ができるかしっかりと詰めていきたい。

以上

別紙

要 請 日 程

月 日	曜日	時間	要 請 先 等	場 所
令和3年 7月26日	月	15:15 ～ 15:30	沖縄県知事 玉 城 デ ニ ー	知事第1応 接室
		15:45 ～ 16:00	沖縄県教育長 金 城 弘 昌	教育庁第1 ・第2会議 室